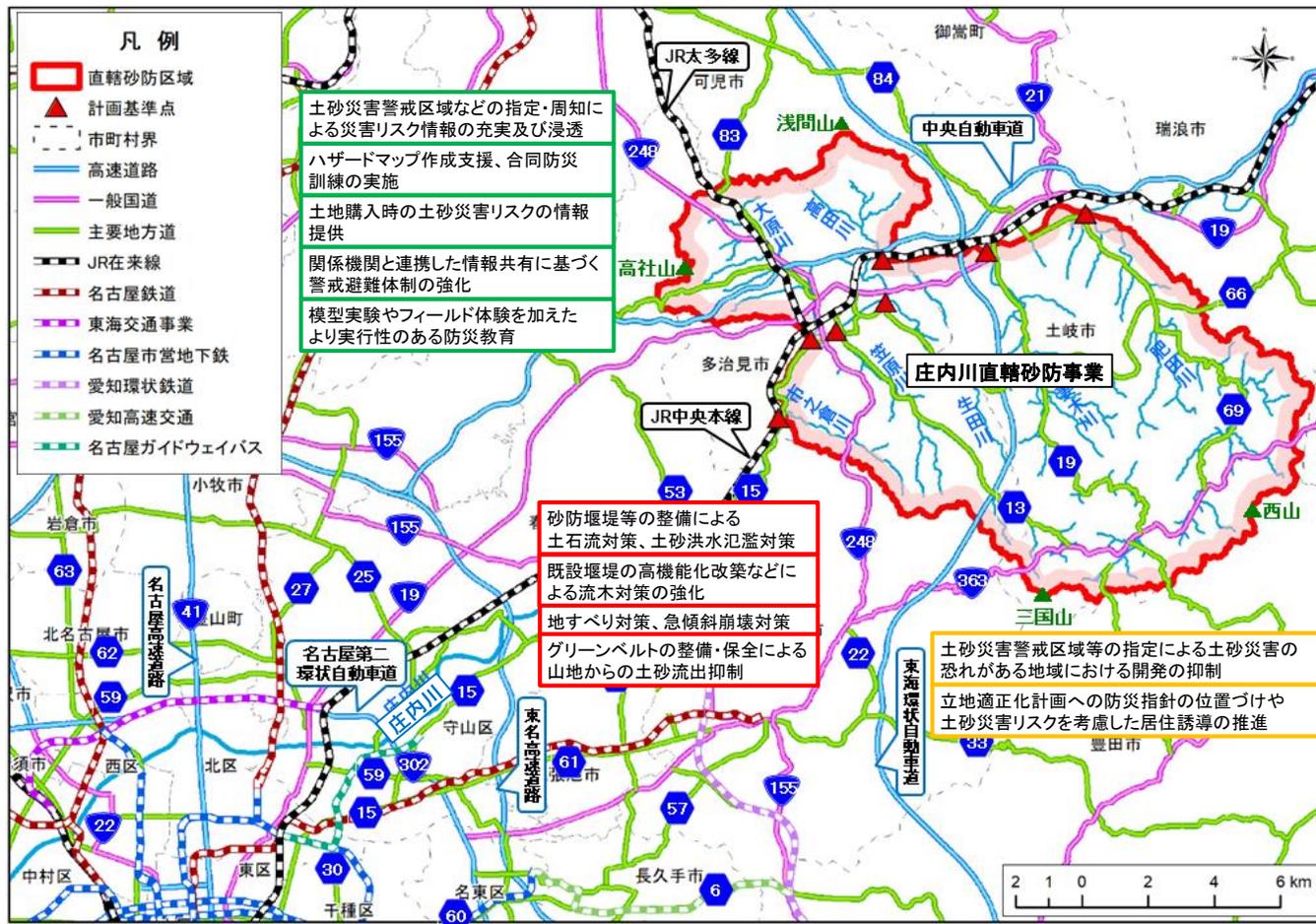


多治見砂防国道事務所からの情報提供 (流域治水『砂防』の全体像 (案))

庄内川水系_流域治水『砂防』の全体像（案）

- 庄内川の上流域は、未固結の粘土層や風化しやすい花崗岩が広く分布するとともに、複数の断層が存在し、土石流や崩壊による土砂の生産、流出が発生しやすい地域
- さらに、近年住宅団地などの開発により山際まで宅地化が進み、土砂災害による直接的な被害発生リスクも高まっていることから、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として砂防関係施設の整備やグリーンベルトの整備・保全による土石流対策、土砂・洪水氾濫対策、流木対策などを推進
- また、土砂災害防止法などにに基づき、リスク情報の充実や防災教育などによる「被害対象を減少させるための対策」や「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」に係る取組を積極的に展開



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・ 砂防堰堤等の整備による土石流対策、土砂・洪水氾濫対策
 - ・ 既設堰堤の高機能化改築などによる流木対策の強化
 - ・ 地すべり対策、急傾斜地崩壊対策
 - ・ グリーンベルトの整備・保全による山地からの土砂流出抑制

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・ 土砂災害特別警戒区域の指定による土砂災害の恐れがある地域における開発の抑制
 - ・ 立地適正化計画への防災指針の位置づけや土砂災害リスクを考慮した居住誘導の推進

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・ 土砂災害警戒区域などの指定・周知による災害リスク情報の充実及び浸透
 - ・ ハザードマップ作成(支援)、合同防災訓練の実施
 - ・ 土地購入時の土砂災害リスクの情報提供
 - ・ 関係機関と連携した情報共有に基づく警戒避難体制の強化
 - ・ 模型実験やフィールド体験を加えたより実効性のある防災教育